

図上型防災訓練マニュアルの作成に関する調査研究について

応急対策室

1. はじめに

我が国は世界有数の災害発生国ですが、組織や個人レベルでは大規模な災害には極めてまれにしか直面せず、実際に災害を経験する機会が少ないため、実際の災害に近い疑似体験ができる実戦的な図上型訓練を行うことは、地方公共団体の災害対策本部の対応能力向上を図るための一つの有効な手段です。

災害対応に求められるイマジネーション能力や状況理解能力、判断行動能力等を養うための手法として、状況付与型・状況予測型等の図上型訓練が開発され、防災機関において実際に研修、訓練の一環として取り入れられる機会が年々増加しています。

しかし、現状においては、より実戦的・効果的で、かつ、取り組みやすい手法の開発・普及を一層推進する必要があります。

本調査研究は、このような背景のもと、図上型訓練の種類と特徴、都道府県及び市町村における地震を対象とした図上型訓練の実施状況と課題、図上型訓練の実施要領のあり方について検討し、地方公共団体における図上型訓練の実施促進に資することを目的としています。

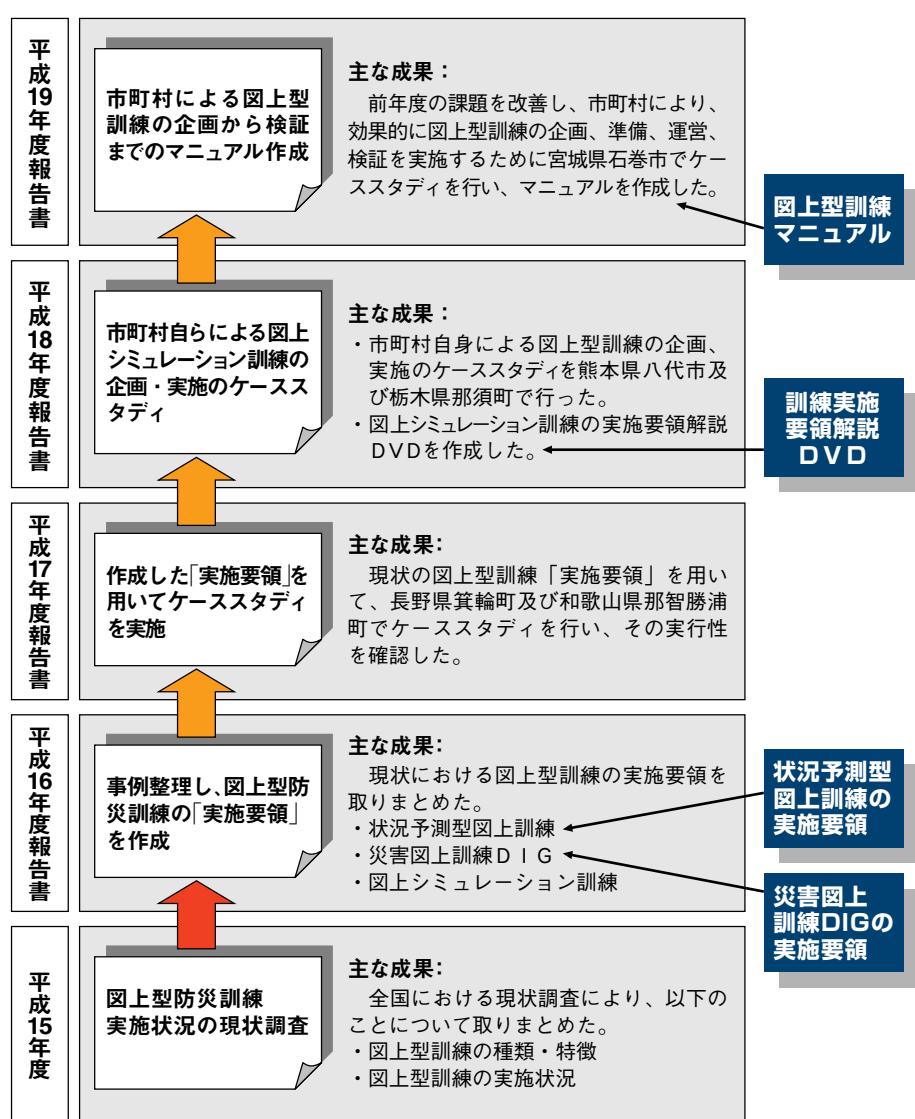
なお、これまでの検討経緯は、右図のとおりです。

2. 平成19年度の取組

平成16年度から継続して続けてきた「地震防災訓練（図上型訓練）実施要領作成研究会」（平成17年度からは、「図上型防災訓練マニュアル研究会」）では、全国の地方公共団体における図上型訓練の実態調査を行ってきました。あわせて、「図上型訓練の実施要領モデル」作成のため、図上シミュレーション

訓練（ロールプレイング方式の図上訓練）、災害図上訓練DIG（災害想像力ゲーム）及び状況予測型図上訓練（イメージトレーニング方式の図上訓練）について、市町村における様々な状況を想定した訓練の実施によるケーススタディを通じて整理し、各年度、その研究結果を報告してきました。

平成19年度は、一連の研究の最終年度として、これまでの研究結果を踏まえ、宮城県石巻市をモデルとし、防災担当職員による図上シミュレーション訓練の企画及び実施を通じて、それに係る手法の改善を図るとともに、



さらに実戦的、かつ、効果的な図上シミュレーション訓練を実施できるマニュアルの作成を目的として、調査研究を行いました。

平成19年度マニュアルの特徴

(1) 3種類の図上型訓練のノウハウを掲載

- ア 図上シミュレーション訓練
- イ 災害図上訓練D I G
- ウ 状況予測型図上訓練

※ 平成19年度の報告書は、3種類の図上型防災訓練を地方公共団体が自ら企画し、実施するためのマニュアルとして、平成16年度から平成18年度までに作成した「地方公共団体の地震防災訓練(図上型訓練)実施要領モデルの作成に関する調査研究報告書」を総括したもので、必要に応じて各年度の報告書を索引し、該当ページを示すこととしました。

(2) 図上シミュレーション訓練のシナリオ作成、評価・検証を重視した内容

シナリオ作成、評価・検証を重視したマニュアルを作成するため、宮城県石巻市をモデルとしてケーススタディを実施しました。

ア. 事前災害イメージトレーニングの実施

図上シミュレーション訓練のシナリオ作成に向けて、現地で災害イメージトレーニング(災害図上訓練D I G)を実施するなどして、状況を十分に認識することを試みました。

イ. 評価・検証の仕組み作り

訓練の評価・検証につながる「状況付与」を訓練シナリオに組み込んでいく仕組みを検討し、試しました。例えば、プレーヤーに災害イメージを湧かせるような仕掛け、各部局の「情報共有」ができるかどうかを検証するような仕掛け等について、検討を行いました。

(3) マニュアルの電子媒体化

前記(1)及び(2)の検討結果を報告書に取り

まとめ、CD-ROMで電子媒体化し、全国の地方公共団体へ配布することとしました。

3. おわりに

東海地震、東南海・南海地震及び宮城県沖地震など海溝型の大規模な地震はいつ起きてもおかしくない状況にあり、また、都市化や高齢化等の社会現象の進行により災害は一段と複雑化・多様化の様相を呈している中、全国各地で防災訓練が行われていますが、実技・実働訓練に比重が置かれたものが多く、対応機関のマネジメントに係わるものはまだまだ少ないので現状です。

大規模な災害においては、各行政機関だけでなく民間の事業所や住民も含めた総括的な連携が必要であり、各地に潜在化する防災資源を有機的に活用しなければ実効性は上がりません。

図上型訓練を通じて大規模災害を体験することは、自治体の防災力を高める上で大変有効であり、今後も、地震等を対象とした図上型防災訓練を推進していくこととしています。

近年は、梅雨前線や台風による大規模な風水害も多発しており、今後は風水害や様々な複合的な災害をも視野に入れた訓練も必要であると考えています。

宮城県石巻市におけるケーススタディの実施（平成20年1月18日）



岡山淳国民保護・防災部長のあいさつ



図上シミュレーション訓練の全景



災害対策本部会議の状況



土井喜美夫石巻市長による記者会見の様子